

こもちまがたま
90. 子持勾玉

■ 指定日

平成16年3月30日

■ 種別

有形文化財 考古資料

■ 年代

古墳時代中期

■ 所在地

朝来市山東町大月

■ 所有者

朝来市



■ 内容

昭和63年(1988)に馬場17号墳(柿坪)から出土したもの。

滑石製で、一般の勾玉よりもかなり大きい。主体となる大きな勾玉の背中側に4個・腹側に1個・両側面に各3個の計11個の勾玉状の突起がみとめられる。また、頭の上と、尻部の下には小さい突起がみられる。頭部分を貫通する穴が1ヶ所開けられている。表面には、石を削って加工した痕跡が明瞭である。大きさや形から、普通の勾玉と異なり、特別な祭祀において使用されたものと考えられる。

但馬地方においては出土例がなく、また、古墳からの出土例も多くない。